Moxafrica

空飛ぶ鍼灸師お灸は世界を変える

イギリス在住の日本人鍼灸師 伊田屋ゆき先生を迎え、モクサアフリカの活

動や海外生活、欧米からみた日本鍼灸について自由に語ってもらいました。

2017年12月9日土曜日 関西中医鍼灸研究会

伊田屋「みなさん、こんにちは。『Moxafrica¹(モクサアフリカ)』の理事をしております伊田屋と申します。わたしたちはお灸を使って、結核の補助治療を研究している団体です。100パーセントボランティアで、5人しか居ない団体です。先月10周年を迎えました。い



ま、**『モクサアフリカ・ジャパン**²』という支 部というか、サブ・グループをつくっており ます。日本語の情報が出ています。

スペイン在住の景子さんが入ってくれて、これからスペイン語圏にも情報を広げていけると思っています。お灸をする個人と団体は支援します。日本で生まれて、福岡県生まれです。中学校から海外に出て、25年海外に出ていますので、日本語はたどたどしいかもしれません。お灸とグローバルヘルスで博士号をとりましたが、100年前に原志免太郎3先生

1929年(昭和4年)8月には、博多中州で原内科医院を開業します。

1933年(昭和8年)に『**萬病に効くお灸療法**』を実業之日本社から出版し、ベストセラーになります。1934年(昭和9年)に内務省に「灸科」という科目を申請し、1935年(昭

¹ Moxafrica : https://www.moxafrica.org/

² モクサアフリカ・ジャパン: https://www.moxafrica-japan.com/

³【原志免太郎 (はら・しめたろう)】1882年 (明治 15年) 生まれ。1901年 (明治 34年) 京都府立医学校 (京都府立医科大学) に 18歳で入学し、1905年 (明治 38年) に卒業、1906年から京都府立医学校の医員として勤めて神経精神科を学び、1910年 (明治 43年) に福岡に帰郷します。1916年(大正 5年)に 33歳で静岡県静岡市に移り、ワイル病の研究を行います。この間に 3人の子どもを病気で亡くしています。1919年に静岡より東京巣鴨に引越し、師子王病院で臨床します。1923年(大正 12年)には関東大震災で被災します。1924年 (大正 13年) には、博多に引っ越し、42歳で九州帝国大学医学部の第 1 講座に入ります。九州帝国大学医学部では、灸の研究をはじめます。1929年 (昭和 4年) に 46歳で、『灸に関する医学的研究』により医学博士の学位をとりました。特に当時、不治の病であった結核に対して、灸が有効であるという論文は、1929年 (昭和 4年) 4月 23日に新聞で大きく報じられました。同年、原志免太郎先生は、『灸法の医学的研究』(春秋社)を出版します。

が博士号をとってから、そんなにお灸を研究して博士号はいないと思います。

1972年に**馬王堆**で医経(いわゆる『足臂十一脈灸経』『陰陽十一脈灸経』)が帛書として発見されました。お灸のほうが先です。『難経』ではお灸の記述はまったく無いです。これは**講演する伊田屋先生** マーリン・ヤングが教えてくれたことです。お灸は、鍼のあとの第2の手段として考えられていました。お灸は庶民のイメージが強いです。緊急の場合や鍼が効かないときはお灸が出てきます。

お灸で結核を治した原志免太郎博士

日本からヨーロッパに『モクサ(Moxa)』という言葉が伝わり、英語の Moxibustion(モクシバスチョン)となりました。日本のお灸の特徴は小さいモグサです。皆さん、原志免太郎先生はご存知ですか?福岡のお医者さんで、お灸の研究をされていた先生です。牛乳が大好きで、毎日、牛乳を飲んでいたそうです。この先生は 100 年前に結核のモルモットを使った実験をしています。

九州は、東京や大阪に比べ物資が入ってこない、薬も少ない。結核は福岡でも流行っていたので、お灸をしていたそうです。この先生が実際にやったモルモットの結核実験をやりました。お灸をすると免疫があがるんじゃないかということです。原先生の治療は、足三里(ST36)と腰部八点灸です。ウガンダと南アフリカでは、腰部八点灸がとれないです。経穴をとるのがむずかしい。でも足三里(ST36)はできます。足三里(ST36)に7壮するというやり方しかしていません。ツボはだいたいです。ゆるーいツボの取り方です。モグサを日本から送っています。お線香と紫雲膏クリームは現地調達です。クリームはお水をかわりにしています。お線香は枯れ枝です。葉書やコルクのコースターで看護師さんが長い艾炷をつくり、そこから7壮ずつ使ってもらっています。

結核菌ですが、古代人もたくさん結核の記録を残しています。日本では大阪が1番、2 番目が和歌山だそうです。

※大阪には西成区に 釜が崎(あいりん地区)があり、高度経済成長期に70年大阪万博を契機に日雇い労働者が多く集まった。衛生環境、栄養状態が悪く結核も多かった。現在は多くの方が高齢化し生活保護受給者になっている。

薬剤耐性菌という結核菌が多くなっています。イギリスの結核が減ったのは 1940 年代で、そのあとに BCG ワクチンができました。いまだに国によっては BCG ワクチンを使っている国もあります。日本は 1960 年代に減ります。高度経済成長の中で栄養状態がよくなり、免

和 10 年)に内務大臣後藤文夫から許可を得ました。1955 年(昭和 30 年)に**『新しい灸学とその応用』**を73 歳で出版し、1982 年(昭和 57 年)に 100 歳で『新しい灸学ーその神秘を探る65 年』を出版しました。

原志免太郎「新しい灸学と其應用」『日本東洋醫學會誌』Vol. 4 (1953) No. 1 P 42-44



疫力が改善されました。 たくさん臨床をされてい 次田健⁴先生と深 谷伊三郎⁵先生ですね。80 歳代の先生方は結核の先生方は結核 では、次田健⁴先生と のた生ですね。80 歳代の先生方は結核で はおきないで がはないです。 はないます。 が、感染しています。 による死亡率は、エイズ

パネルディスカッションもしました。左から敬称略で北川、伊田屋、景子、藤井 がナンバーワンですが、じつはカウントの仕方がありまして、結核の方が実際は多い。 エイズの患者さんは重複感染して、70パーセントが結核を発症して亡くなっています。

多剤耐性結核菌(MDR-TB: Multiple Drug Resistance TuBerculosis)や超多剤耐性結核菌(XDR-TB: Xtensively Drug-Resistant TuBerculosis)は、誰も解決策がないです。

⁴ 沢田健(さわだ・けん:1877-1938)先生は、1877年(明治10年)に大阪の剣道指南の家に生まれ、京都の武徳殿で柔術を修行し、朝鮮に渡って釜山で針灸治療所を経営していました。1922年(大正11年)に45歳で城一格(じょう・いっかく)氏の招きで日本に帰国し、鹿児島県で灸の免許を取得します。東京で開業し、1923年の関東大震災でいったん全てを失いますが、雑司が谷で開業します。そして、1927年(昭和2年)の中山忠直「漢方医学の新研究」で50歳で有名人となりました。この1927年に代田文誌(しろた・ぶんし)先生が弟子入りしています。1927年から沢田健先生が亡くなる1938年までの治療の様子は、名著『鍼灸真髄』に書かれています。

深谷伊三郎 (ふかや・いさぶろう 1900-1974) 先生は、東京に生まれました。1923 年 (大正 12年)~1932年(昭和7年)の23歳から32歳ぐらいまでは、深谷瑞輔というペン ネームで雑誌『精神界』に書き、催眠術や心理学についての本をたくさん書かれていまし た。 これらの文献は、国立国会図書館近代デジタルライブラリーで読むことができます。 しかし、深谷先生は5年間、**結核にかかり**、自分が今まで書いてきた催眠術や心理学がま ったく役に立たず、灸で治ったことから鍼灸師となります。 1935 年(昭和 10 年)35 歳で 東京の雑司ケ谷で開業しますが、ちょうど沢田健先生が雑司ケ谷で開業していました。患 者さんの体を通じて、沢田流のツボを学んだそうです。 1937年 (昭和 12年) 37歳の頃 に 東京江東区、深川不動尊で「深川不動の灸」 をはじめます。1945年(昭和20年)に は東京都文京区浄心寺灸堂に転居します。戦後から、深谷伊三郎先生の「昭和の名灸師」 としての出版活動がはじまります。 1952年(昭和27年)に、竹筒で圧して灸熱を緩和 する深谷灸法をはじめます。1955年(昭和30年)55歳で『鍼灸治療雑誌』を創刊します。 神経症に対する督脈の灸、関節リウマチへの打ち貫き灸、喘息への喘息兪への灸、ひょう その爪の灸、眼科疾患への臂臑の灸、痔疾患への陶道の灸など多くの創案を行いました。 1974年(昭和49年)深谷伊三郎先生は74歳で死去されますが、『黄帝明堂灸経の研究』 が出版されました。

RCT(ランダム化比較試験)で結核にお灸が効くことを証明

RCT(ランダム化比較試験)は、ウガンダでモクサアフリカがやりました。使ったのは足三里(ST36)の灸のみです。ウガンダのマケレレ大学と共同研究したものです。結核患者 180名で、一つのグループは90名、もう一つのグループは90名です。薬物治療プラスお灸と、薬物治療のみを比較しました。患者さん自身によるセルフケアです。マケレレ大学で喀痰検査と X 線検査、血液検査です。

薬剤耐性結核でなければ、お茶碗一杯程度の抗生物質を6ヶ月から8ヶ月飲むと、感染力がなくなります。お灸をすると、10名の方が、1ヶ月目で感染力がなくなりました。お

灸をしている方は6ヵ月後に100パーセントの方が感染力がなくなりました。CD4は平均値600から1,500です。6ヵ月後に、お灸グループは54パーセント増加しています。お灸をしていないグループは28パーセントしか増加していないです。これは予測している結果でした。エイズウイルスの重複感染は、390ぐらいですが、72パーセント増加しています。これは



健康状態の CD4 となります。結核とエイズの患者さんでは、2 つの薬物療法を併用できるようになります。

お灸は安価で治療できる

肺の中に結核ができると、白いものがレントゲンに写ります。結核の患者さんは貧血になりますが、お灸をすると、免疫があがり、酸素がからだにまわります。抗生物質は、日本では、国が薬をだしてくれます。コントロールできないと隔離となります。多剤耐性結核となると、2つの薬に耐性があります。多剤耐性結核では、10万円から200万円払わないとお薬が払えないです。超多剤耐性結核では24ヶ月隔離で、費用は2,000万円くらいかかります。お灸は10ドルくらいです。普通の結核は83パーセントは治療可能です。残りの17パーセントは治らないです。超多剤耐性結核では28パーセントくらいしか助からないです。お灸は薬剤の耐性を悪化させず、安いです。喀痰検査を培養して、どの結核なのかは菌を育てるのに7週間かかり、1か月が無駄になり、その間に感染させます。お灸はすぐに始められる利点があります。名古屋のアサンテ名古屋さんというお医者さんのグループに、鍼灸師がいて、イギリスでモクサアフリカのやりかたを勉強してもらいました。3年間やってもらい、今年から行かないそうです。20人のお医者さんを送るのに、飛行機代、保険、バス代、ホテル代などを考えると、1週間行かれるんですけど、持続できないです。毎年1週間、患者さんを置いていくのは大きな負担です。アメリカの大学の公衆衛

生の学生さん、あるいはナチュロパスの学生さんを教えています。その生徒がタンザニア の研修に行ってもやることが無い、少ないのです。それで、お灸を教えたら、海女さんの 関節痛に非常に良かったです。

北朝鮮でも蔓延する結核

北朝鮮は、日本と近いですね。北朝鮮で結核は流行っています。モクサアフリカの別のメンバーが2017年に2回行き、2018年3月にも、もう1回行きます。赤十字の先生によれば、お薬が無い。治療法が無いそうです。お灸は大変たよりにされています。ただ、日本からモグサを直接、送れないのです。いったんイギリスに送り、中国に送り、それから北朝鮮に入ります。モグサは手荷物として直接持って行っています。

8月にチベット・青海省に行きました。チベットも結核が多いそうですが、結核に何人かかっているかという情報開示が私たちにはありませんでした。

イギリスでの暮らし

わたしが住んでいるのはロンドンから3時間ぐらいで、携帯電話が通じません。

わたしは 18 年アメリカに住み、3 年前からイギリスに住んでいます。イギリスは免許制度がありません。アメリカは州によって違い、わたしはカルフォルニア州にいたのですが、非常に厳しいです。プライマリケアという区分になり、患者さんが来たら、脳溢血などを鑑別しないといけないです。いまはアメリカ独自の鍼灸になってきています。アメリカは中国式がメジャーで、日本式はマイナーです。

アンゴラは依頼があったときに、どこかも知らなかったです。

インドはスカイプで6時間指導しました。

イタリアとフランスは医師でないと鍼はさせません。スペインは大丈夫です。ポルトガルはやっと鍼灸学校ができました。イギリスはビザさえあれば、日本の鍼灸免許が使えます。ただ、ビザをとるのが難しいです。イギリスは世界中と戦争していますが、移民を受け入れないです。

最近はブラジルも鍼灸が盛んです。持続可能な医療というのが大きな話題になります。オバマケアでも一月3万円はらわないといけないです。ケガすると50万円は自分です。アメリカでは半分以上は元気だけど、予防に来ていました。ほとんどの患者さんは修士以上でした。アメリカで鍼灸を受ける患者層は教育の高い患者です。修士クラスになるとリサーチをします。リサーチするかたは、鍼灸の患者さんになります。保険に入る際に、一番のリクエストは鍼灸がカバーされるかだそうです。だから、鍼灸師の未来はとても明るいと思います。

お灸製造工場のお話

佐藤竹衛門商店⁶さんの映像です。もくもくと小さい茎を取り除く作業をしています。新潟の上越、ものすごく寒いです。1時間で手足の感覚がないくらい寒いです。冬にしか作業されないです。ウガンダの方たちに仕事を提供したくて、教育をしてくれないかと頼んだんです。けど、良い返事がなくて、「見にきたら?」と言われて、行って見ました。行ってビックリ、ウガンダ人には絶対にできないと思いました。北の日本人にしか出来ない仕事です。

わたしたちはモグサ会社がずっと続くように祈っています。佐藤さんがなくなると、カマヤ⁷さんや山正⁸、せんねん灸⁹、小林老輔¹⁰さん、ぜんぶモグサをつくれなくなります。持続可能な医療というのがテーマです。日本はいま裕福ですが、10年後は違います。人口は少なくなりますし、他の国が優秀で、日本は失敗続きで、海外でも人気が落ちてきています。そのとき、他の国の人たちを助けているか、どうかで判断されます。EU がなぜ、できたか?お互いに侵略をやめようという契約です。イギリスはそこから外れようとしています。EU 離脱は 60 歳以上のヒトたちが独立しようと言いました。そのときに若い人たちは怒りました。いま変わると非常に困ると抗議しています。

お灸は簡単で、安全で鍼のように使いまわしができません。わたしたちはヒトを派遣しません。ボランティアに行く際に、連れて行きません。持続可能な医療でないからです。 文化的に違いますから、現地でいちばん信頼されている方、牧師さんや看護師さん、お医者さんを説得して、モグサの使いかたを教えて、その方たちが教えます。

鍼灸師は、未病医学、予防医学に入れるんで、未来はあります。鍼灸師は自分と他人を切り離さない考え方をもっている方が多いので、必要とされる場所がたくさんあります。どこにでも難民キャンプがたくさんあります。うつがあったり、肩腰が痛い方に鍼灸師さんが行くと、英語が少し話せたら、海外でも活躍できる場所があります。100年前に原先生が自分と他人を切りはなさい考え方をおっしゃっていました。経済状況が悪くなって、公衆衛生が悪くなると結核が出てきます。その際にお灸をしていれば、地域の方に説得できると思います。たまたま、わたしたちはウガンダで、人間で数値で結果を出したので、

6 有限会社 **佐藤竹右衛門商店** 〒949-1602 新潟県上越市名立区名立大町 1015-1

http://www.satou-moxa.com/

⁷ **釜屋もぐさ本舗** 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町 6-1

http://www.mogusa.co.jp/

8 山正 〒526-0244 滋賀県長浜市内保町 238 番地 2

http://www.moxa.net/index.shtml

9 セネファ株式会社 滋賀県長浜市内保町 77

https://www.senneng.co.jp/

¹⁰株式会社 **小林老舗** (こばやしろうほ) 〒526-0203 滋賀県長浜市野瀬町 880 番地 http://kobayashi-rouho.com/

亀屋左京商店 滋賀県米原市柏原 2229 番地

http://www.ibukimoxa.jp/home.html

利用してもらえればと思います。わたしたちはいつでもボランティアを募集しています。

終わり



中医臨床12月号には 中国 杭州で2017年9月に開催 された 国際灸法大会の報告 記事も掲載されています。 藤井正道世話人が招待され、 講演しました。 中国ではお灸ブームがおこっ ています。

2018年9月に雲南省昆明 で開催される大会にはモクサ アフリカが招待されています。

モクサアフリカ 伊田屋理事を迎えて

藤井正道世話人

◆研究成果で世界を動かす、お灸の再評価を

モクサアフリカは長年のRCT/臨床研究の結果、ウガンダで2016年に結核とHIV患者にお 灸をすると免疫力が高まることを証明することに成功しました。この研究成果は世界的な 注目を集めています。私が招待された9月の第5回国際灸法大会(中国 杭州)でもその活動を台湾の大学教授が紹介していました。

北朝鮮はこの研究に注目し2016年からモクサアフリカのメンバーが2回 北朝鮮に招かれ指導しています。イギリスと北朝鮮は国交があります。

北朝鮮赤十字が現地では活動しています。ただ情報開示がなされず、実態がわかりにくいのが現状のようです。北朝鮮でも抗生物質の効かない多剤耐性結核の増加は深刻です。韓国や日本、中国にも直接 影響を与える可能性の大きい話です。結核菌に国境はありません。北朝鮮の結核の蔓延を防止することは我が国の結核を減らすことにつながります。

モクサアフリカは結核にお灸が効くという実証研究を各地ですすめ WHO などを説得して世界を動かそうとしています。

◆飯は大事

ウガンダで足三里に灸をすると困ったことがおこり、それが原因でお灸をやめる患者さん

が出てきたという話がありました。元気になって食欲が増えたが、食べるものがないのです。元気になってもりもり食べれば免疫力も上がります。お灸に加え十分な食べ物があれば、結核にお灸が効くという研究はもっと成果を上げられるでしょう。

実際 南アフリカではお灸の指導とともに食料を供給するというプロジェクトをモクサアフリカは企画したそうです。ただ現地の治安状況の悪化のため断念しています。

お灸と食料援助の組み合わせという発想は東洋医学的、中医学的なものです。是非 実現 していただきたいものです。そのためにはまず資金が必要です。

12月9日はモクサアフリカの手ぬぐい 33000円 募金 32920 合計 65920円が集まりました。全国の皆様も募金にご協力ください。

*ATM から送金(おすすめ) お持ちのゆうちょ口座からモクサアフリカ口座へ直接お振込いただけます。手数料無料。

*郵便局窓口から送金 郵便局設置の『電信払込み請求書・電信振替請求書』にご記入いただき、窓口でお手続きください。※手数料がかかります。

名義:モクサアフリカジャパン

記号:17420 番号:24595371